



社会新報 (岡山県連合版)

2015年3月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3592-7515 1部180円/月700円/年

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

発行責任者 武本恒夫



「山が動く」。護憲・平和を頑固に守りとおし、昨年9月22日にならされた土井さんの意志を引き継ぐため昨年計画し、総選挙により延期していた追悼学習会を3月1日開催した。集会では下市このみ岡山市議も駆けつけ、政治のキッカケが土井さんであったことなど語った。

女性も多く、土井精神健在ははじめに全員で黙とう、実行委員長の福島社民党県連合代表挨拶の後、第一部「土井たか子を語る」で福島みずほ副党首が駆けつけ「有事法制の動きのなか、国会で一掃に反対をやるうと誘われた」とさぞわれ「政治の母」であったこと。また文化・芸術にも造詣が深く「マイウェイ」独唱の歌声は「宝塚を受験した話し」を納得させた、と私たちが知らない土井さんの魅力語り、改めて決意を語った

女性も多く、土井精神健在

「山が動く」。護憲・平和を頑固に守りとおし、昨年9月22日にならされた土井さんの意志を引き継ぐため昨年計画し、総選挙により延期していた追悼学習会を3月1日開催した。集会では下市このみ岡山市議も駆けつけ、政治のキッカケが土井さんであったことなど語った。

「土井たか子さん追悼 憲法学習会」



福島副党首・中北講師・下市市議



岡山県下の平和団体は2月11日、県北の中国山ろく奈義町(一部津山市含む)の自衛隊日本原基地撤去を求める岡山県民集会を開催、24団体、250人が参加した。演習場のある那岐山が先日までの雪で真っ白い装いを見せていた。主催者の日本原共闘会議福島議長は、40年以上の戦いを通して阻止してきたが、「いままさに自衛隊を海外へ出動するような状態がおきている」と訴え、また、反核の戦いで訴えた。

暗闇の中で星が光るように土井さんの主張は生きる第二部「憲法学習」で講演の中北龍太郎弁護士は、生前土井さんと親交も深く、「平和憲法の危機に土井さんがいないとき、寂しいものがある」と。いま進められている安保法制は政府の判断で積極的に

いま日本原から外国へ戦争に送らないために



写真上:基地撤去集会アピール採択 大声コンテスト 左:宮原さん 右:参加者の小学生

岡山県下の平和団体は2月11日、県北の中国山ろく奈義町(一部津山市含む)の自衛隊日本原基地撤去を求める岡山県民集会を開催、24団体、250人が参加した。演習場のある那岐山が先日までの雪で真っ白い装いを見せていた。主催者の日本原共闘会議福島議長は、40年以上の戦いを通して阻止してきたが、「いままさに自衛隊を海外へ出動するような状態がおきている」と訴え、また、反核の戦いで訴えた。

戦争に加担するもので、土井さんの主張が生きてくる、と沖縄の戦いなどに学び、展望を持つて戦おうと訴えた。(裏面詳細報告・文責事務局)

4月岡山市議選挙・中区選挙区 下市このみ(現4期)さん推せん



1・2区党員会議(1/27)で「下市このみ」さん(現4期)の推薦依頼を協議、県連合へ推薦を上申、党県連合は2/5常幹で推薦決定、憲法の精神を活かした市政実現などの政策協定を行い全国連合へ上申、当選に全力をあげます。すでに送付の後援会

1・2区支部党員会議は24日、沖縄の今を議論。辺野古埋め立てをめぐる、政府は沖縄の民意を不当に押しつぶし、再び殺そうとするブラック国家そのものだ。沖縄で起きていることは沖縄の問題ではなく、私たちの今であり、子や孫が平和に生きる問題であろう。(私も一言)

豆通信

場、那岐山からの冷たくも澄みきった空気の中「平和憲法を守ろう」などの声が響いた。参加者には景品として基地反対農民生産の米が送られた。集会は、安倍内閣の「戦争をしない平和国家としての日本の在り方を根本から変えよう」として、集団的自衛権をめぐる動きを批判し、「日本から全世界に向けて、戦争反対を訴える」集会アップルを採択した。

党県連合活動日誌

- 2/5 県連合常任幹事会
- 2/7 党県連合財政委員会
- 2/8 党中国ブロック財政担当者会議(岡山)
- 2/10 「新報」読者会
- 2/11 日本原基地撤去岡山県民集会(奈義町)
- 2/16 党全国代表者会議(東京:武本・池田)
- 2/20 「時事問題懇話会」(施政方針演説を読む)
- 2/24 1・2区党員会議
- 2/25 岡山駅前定期街頭宣伝
- ※1/24 旗開きでの森本栄氏の講演録を作成しました。学習資料としてご利用ください。

「新報」読者会
2月10日(第2火) 18時
弓之町「時事問題懇話会」
2月20日(第3金) 18時
いずれも岡山社会文化会館

定例学習・読者会

「新報」読者会

碁の布石(白と黒の石を交互に置く)は、定石があり、置く石の対極を見て打つのが布石だ。棋士の一手は、30手先にある。また人生に通じる格言も多い。▼ところで昨年末の解散・総選挙、わがまま解散とか自己都合解散と言うが、周到に準備された解散と、いま分かる「絶えず準備せよ」とは情勢を読み取る格言だが、改憲は今しかないとの危機感。安倍政権が上だつた▼3分の2の議席と4年の政権で、国民が考える時間を持たない矢張り早急な安全保障の見直しが進んでいる▼その中、国会審議で安倍首相自身が飛ばした「ヤジ」は、「おこり」や「余裕かあせり」のどちらであるのか▼安倍政権の狙いが憲法9条改悪にあることは明らかだ。この「本丸」に迫る布石は憲法96条改悪の失敗から多様な道をとろう▼「不安と恐怖を持ったとき、一人でいることが怖くなり、多数派に身を置きたくなる。群れの中では方向や速度が分からなくなる。だから暴走が始まっても気付かない」(映画監督森達也)示唆に富む言葉だ(の